

三菱マテリアル株式会社 IR決算説明会



超硬製品

2014年11月13日

取締役社長 矢尾 宏

目次

1. 2015年3月期 第2四半期累計 連結業績 及び 通期業績見通し
2. 中期経営計画の進捗状況
3. セグメント別概要
4. 総括
5. 参考データ（諸元・前提条件・感応度）

1. 2015年3月期 第2四半期累計 連結業績

2015年3月期 第2四半期累計 連結業績の概要

■ 売上高	7,511億円	(前年同期比 475億円増)	+6.8%
■ 営業利益	340億円	(// 6億円増)	+2.1%
■ 経常利益	400億円	(// 45億円増)	+12.9%
■ 当期純利益	232億円	(// △60億円減)	△20.5%

上半期ハイライト(対前年同期、経常利益)

- ◆セメント：国内は輸出向けを中心に増加、北米は生コン出荷が天候不順などにより概ね前年並でコスト増をカバーできず減益
- ◆金属：電気銅生産量は大幅増となったが修繕費増加などにより前年並み
- ◆加工：輸出を中心とした超硬工具の販売数量回復により増益
- ◆電子材料：SUMCO社の業績回復に伴う持分法損益改善により増益
- ◆アルミ：製缶における原材料価格及び電力費の上昇により減益
- ◆中間配当：前年より1円増加の3円/株の中間配当実施

損益計算書 15年3月期2Q累計 前年実績対比

(単位:億円)	14年3月期 2Q累計 実績 (a)	15年3月期 2Q累計 実績 (b)	増減 (b)-(a)	増減理由
売上高	7,036	7,511	475	金属+430、セメント+34、加工△44 (超硬+65)、電子材料△39 外
営業利益	333	340	6	加工+8、セメント△6 外
金融収支	24	35	11	配当+4 外
持分法損益	22	48	26	日本海洋掘削+17、SUMCO+21、金属△8 外
その他営業外	-24	-24	0	
経常利益	354	400	45	
特別損益	41	-36	-78	固定資産売却益△39、環境対策引当金繰入額△13、操業停止損失△11外
法人税等	-79	-104	-25	
少数株主利益	-24	-26	-2	
当期純利益	292	232	-60	

為替 : 99 円/\$ → 103 円/\$
銅価 : 323 ¢ /lb → 313 ¢ /lb

セグメント別売上高・営業利益・経常利益要因分析

(単位:億円)		14年3月期 2Q累計 (a)	15年3月期 2Q累計 (b)	増減 (b)-(a)	為替差	価格差	数量差	電力影響	受取配当金	持分法損益	その他
セメント	売上高	872	906	34	22	15	-5				1
	営業利益	70	64	-6	0	9	-4	-3			-7
	経常利益	67	60	-7					-0	-1	-8
金属	売上高	3,669	4,100	430	123	-146	440				12
	営業利益	123	124	1	6	-4	22	-6			-17
	経常利益	168	168	-0					4	-8	-14
加工	売上高	725	680	-44	16	9	42				-111
	営業利益	75	83	8	11	-1	26	-2			-25
	経常利益	70	81	11					-0	-0	-23
電子材料	売上高	345	305	-39	4	-3	-40				0
	営業利益	20	20	0	0	0	-30	-1			33
	経常利益	9	33	23					-0	19	36
アルミ	売上高	775	809	33	1	-7	39				0
	営業利益	43	39	-3	0	-18	11	-3			6
	経常利益	39	36	-2					0	-0	8
その他	売上高	1,181	1,147	-34	1	0	-39				3
	営業利益	25	30	5	0	3	2	0			-1
	経常利益	25	49	23					-0	17	1
消去等	売上高	-532	-437	95	0	0	95				0
	営業利益	-24	-23	0	0	0	2	0			-1
	経常利益	-26	-28	-1					1	0	-3
計	売上高	7,036	7,511	475	169	-131	531				-95
	営業利益	333	340	6	18	-12	29	-16			-12
	経常利益	354	400	45					4	26	-3

その他の主要内容

※1. 金属:リサイクル設備等の修繕費(単体)△8、前年同期に計上した棚卸資産評価益(単体)△10

※2. 加工:在庫増減による固定費負担(超硬)△11、拡販費用(超硬)△9

※3. 電子材料:特別損失に計上した操業休止損失(四日市工場)+11、減価償却費(四日市工場)+15

損益計算書 15年3月期2Q累計 予想対比

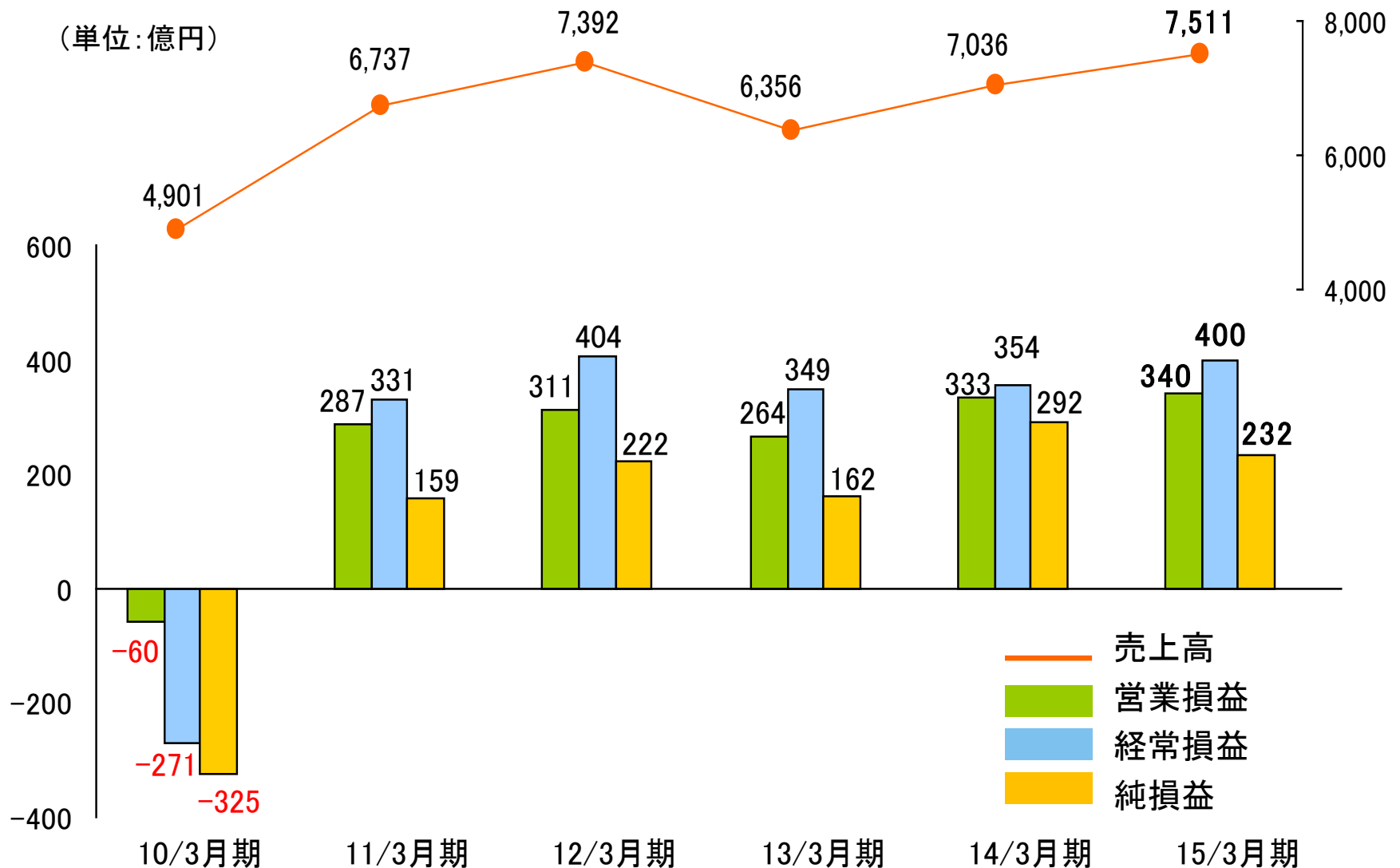
(単位:億円)	15年3月期 2Q累計 予想 (a) ※	15年3月期 2Q累計 実績 (b)	増減 (b)-(a)	増減理由
売上高	7,600	7,511	-89	セメント△63 外
営業利益	330	340	10	加工+21、資源・リサイクル+9、アルミ+8、 電子材料+7、セメント△36 外
金融収支	5	35	30	配当+28 外
持分法損益	27	48	21	日本海洋掘削+7、SUMCO+9外
その他営業外	-22	-24	-2	
経常利益	340	400	60	金属+21、加工+19、電子材料+16、資 源・リサイクル+20、セメント△30 外
特別損益	-40	-36	4	
法人税等	-90	-104	-14	
少数株主利益	-40	-26	14	
当期純利益	170	232	62	

※ 2014年5月12日公表

為替 : 102 円/\$ → 103 円/\$
銅価 : 310 ¢ /lb → 313 ¢ /lb

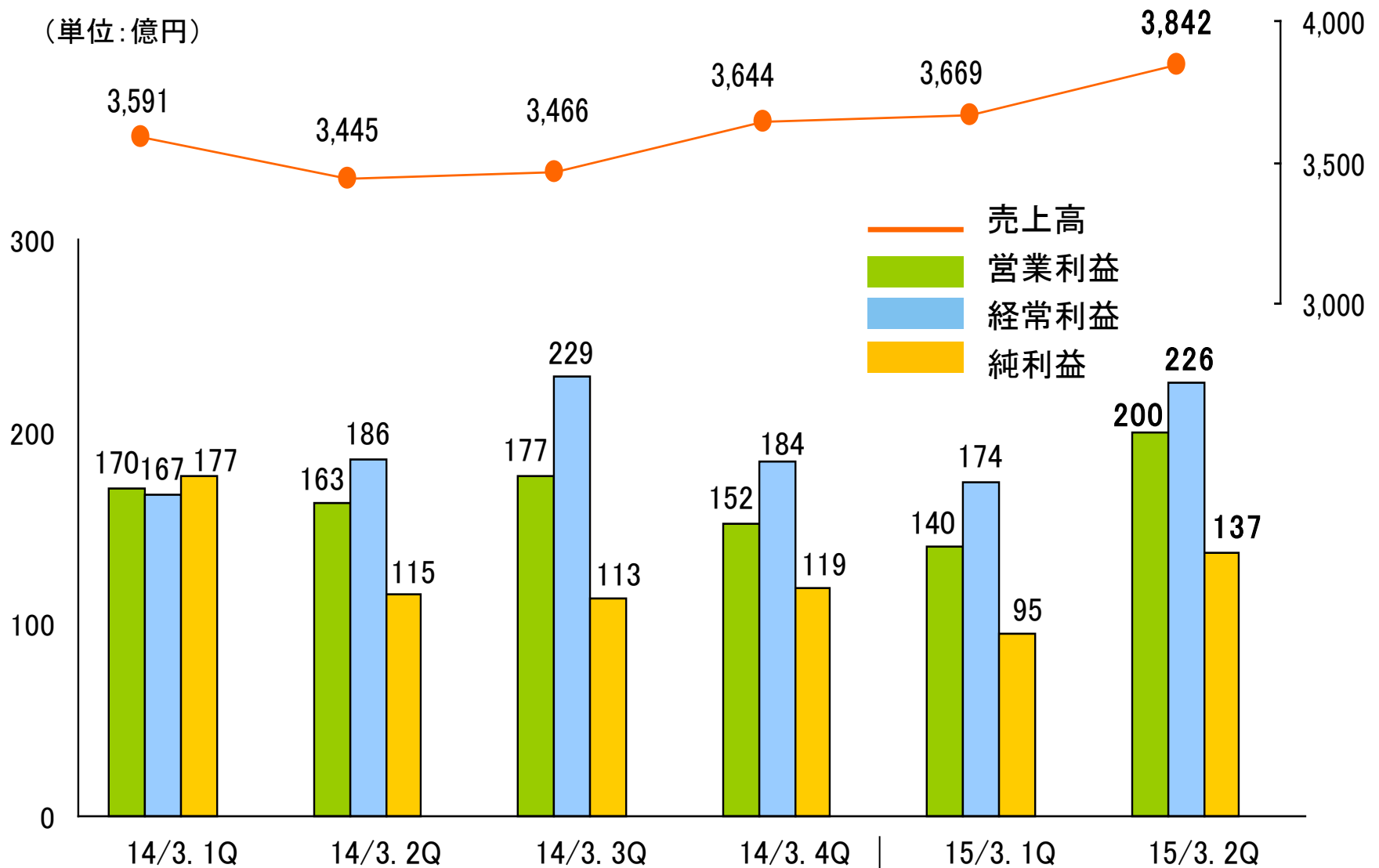
 MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

損益推移状況(第2四半期累計)



損益推移状況(四半期)

(単位: 億円)



貸借対照表：資産の部

(単位：億円)		14年3月末(a)	14年9月末(b)	増減 (b-a)
流動資産	現金預金	634	612	-22
	受取手形・売掛金	2,190	2,424	233
	たな卸資産	2,849	3,167	317
	その他	2,070	2,112	42
	計	7,744	8,316	571
固定資産	有形・無形固定資産	6,987	6,882	-105
	投資その他資産	3,052	3,190	137
	計	10,040	10,073	32
資産合計		17,785	18,389	604

貸借対照表：負債・純資産の部

(単位：億円)		14年3月末 (a)	14年9月末 (b)	増減 (b-a)
負債の部	支払手形及び買掛金	1,066	1,373	307
	借入金、社債、CP	(37%) 6,498	(36%) 6,577	78
	その他負債	4,962	4,983	20
	負債の部計	12,527	12,933	405
純資産の部	資本金	1,194	1,194	-
	資本剰余金・自己株式	904	904	-0
	利益剰余金	2,073	2,221	147
	その他の包括利益累計額	394	433	39
	少数株主持分	689	701	12
	純資産の部計	(30%) 5,257	(30%) 5,455	198
	負債純資産合計	17,785	18,389	604

自己資本比率 (14/3) 26% → (14/9) 26%
 ネットDEレシオ 1.3倍 → 1.3倍

15年3月期 通期業績予想

通期の業績予想は、期初予想を据え置き

(単位:億円)	期初予想 (a) ※	今回予想 (b)
売上高	15,000	15,000
営業利益	740	740
金融収支	71	82
持分法損益	76	66
その他営業外	-47	-48
経常利益	840	840
特別損益	-80	-80
法人税等	-180	-180
少数株主利益	-80	-80
当期純利益	500	500

※2014年5月12日公表

為替USD(JPY/\$)	102	102
EUR(JPY/€)	140	140
銅価格(¢/lb)	310	311

【セグメント別内訳】		期初予想 (a)	今回予想 (b)	増減 (b)-(a)
セメント	売上高	2,050	1,982	-68
	営業利益	242	210	-32
	経常利益	240	202	-38
金属	売上高	8,336	8,164	-172
	営業利益	263	262	-1
	経常利益	369	372	3
加工	売上高	1,390	1,382	-8
	営業利益	143	160	17
	経常利益	142	159	17
電子材料	売上高	650	673	23
	営業利益	39	42	3
	経常利益	47	65	18
アルミ	売上高	1,567	1,597	30
	営業利益	54	56	2
	経常利益	45	49	4
その他	売上高	2,341	2,387	46
	営業利益	72	76	4
	経常利益	87	86	-1
消去等	売上高	-1,334	-1,188	146
	営業利益	-73	-67	6
	経常利益	-89	-93	-4
計	売上高	15,000	15,000	0
	営業利益	740	740	0
	経常利益	840	840	0

2. 中期経営計画の進捗状況

長期経営方針・中期経営計画

● 長期経営方針と中期経営計画の位置づけ



● 長期経営方針ビジョン

私たちは、ユニークな技術により、地球に新たなマテリアルを創造し、循環型社会に貢献するNo. 1企業集団を目指します。

中期経営計画の進捗状況

中期経営計画（2014-2016）

Materials Premium 2016 ～No.1企業集団への挑戦～

成長戦略：「成長基盤の強化」「グローバル競争力の強化」
「循環型ビジネスモデルの追求」

◆セメント事業

- ・リサイクル事業拡大⇒ 廃石膏ボード粉の処理能力を約5倍に増強決定
- ・北米/生コン事業拡大⇒ ハブス骨材鉱山の生産開始

◆金属事業

- ・リサイクル事業拡大⇒ 北米に金銀滓（E-Scrap）リサイクル事業部門を新設

◆加工事業

- ・超硬事業拡大⇒ 生産能力の増強完了（筑波製作所+20%Up）
トルコ及び中国（武漢、青島）に新営業拠点を設立
日立ツール社株式51%取得を決定(15年度連結予定)

トピックス：日立ツール社株式取得①

1. 両社事業の対比

国内シェアNo.1の実現

	当社 超硬製品事業	日立ツール社
製造拠点 (原料製造拠点を除く)	計10拠点 (日本3(筑波、岐阜、明石)、 中国1、タイ2、インドネシア1、 スペイン1、米国2)	計3拠点 (日本2(成田、野洲)、タイ1)
特 徴	<ul style="list-style-type: none">・ 強固なグローバル販売網・ 原料から最終製品までの一環したサプライチェーンを有し、材料開発に強み・ 自動車向け比率が高い・ ターニング工具の比率が高い	<ul style="list-style-type: none">・ 複雑形状のミーリング加工が得意領域(製品ラインナップ、技術、ソリューション提供力)・ 金型分野で高いシェア・ 強固な財務基盤・収益力
業 績 (13年度)	売上高 1,458億円 経常利益 139億円 (高機能製品事業を含む)	売上高 189億円 経常利益 34億円 (簡易連結ベース)

トピックス：日立ツール社株式取得②

2. シナジー発揮

世界シェア10%超を目指して



航空機用工具

製品写真左：ブレード加工用

製品写真右：チタン合金加工用

【拡販・シェアアップ】

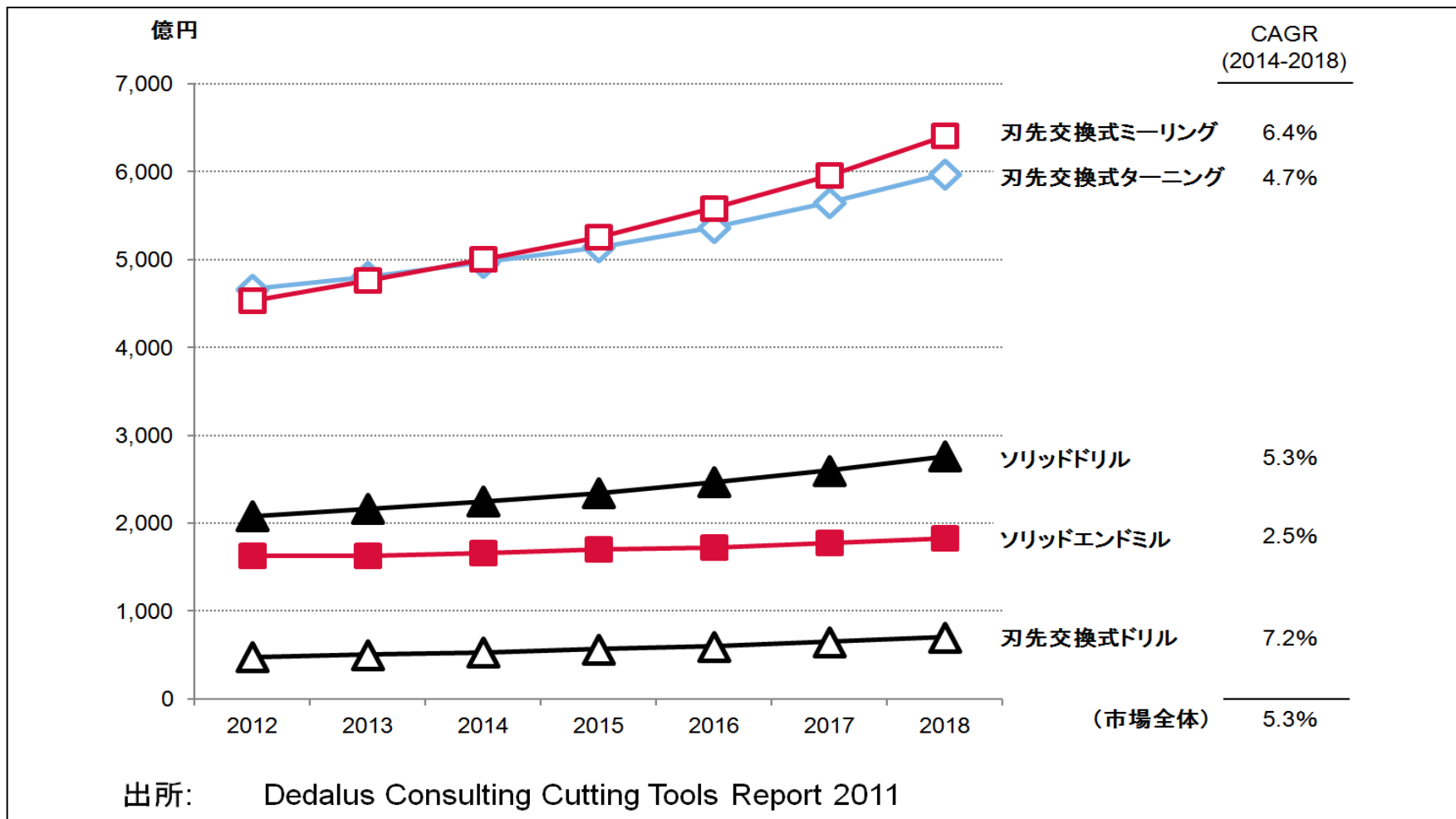
- ① ミーリング加工分野における充実した**製品ラインナップ追加**
- ② 当社の強固な**海外販売網**を活用した日立ツール社製品の海外販売拡大
- ③ 当社が注力している**航空機分野**などの高付加価値市場において、日立ツール社が得意とするミーリング加工の高い技術・提案力を最大限活用

【コスト・開発等】

- ① **素材共有**によるコストダウン・新素材の相互活用
- ② **開発連携**によるスピードアップ・高度化
- ③ **人的交流**による技術底上げ

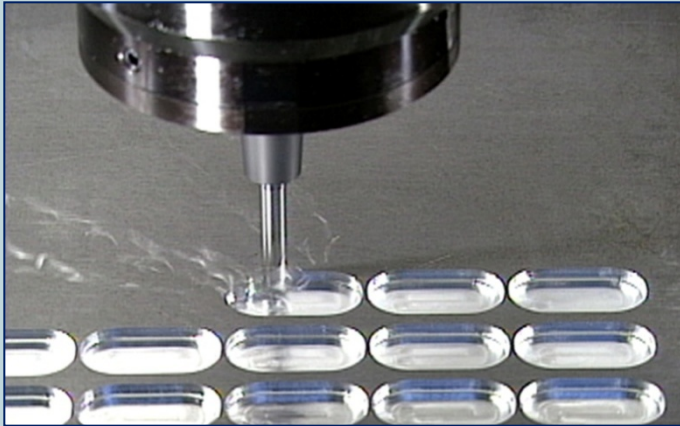
トピックス：日立ツール社株式取得（ご参考）

製品・加工方法別需要予測



トピックス：日立ツール社株式取得（ご参考）

金型産業や航空産業におけるミーリング加工の例



金型の切削加工例①（写真）



航空機部品の切削加工例（写真）



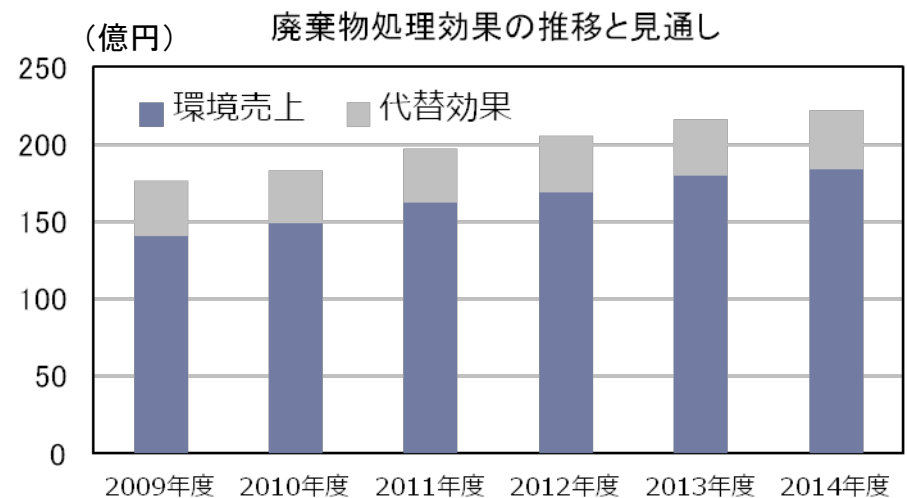
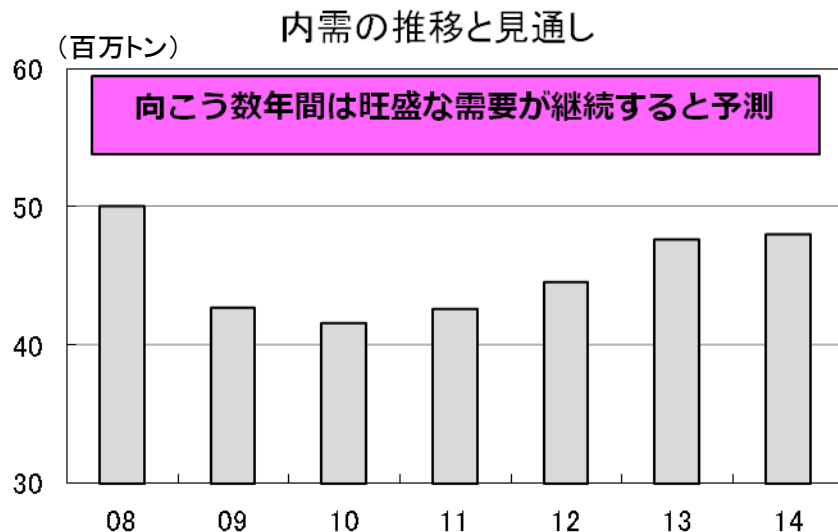
金型の切削加工例②（動画）

3. セグメント別概要

セメント事業概況

<国内>

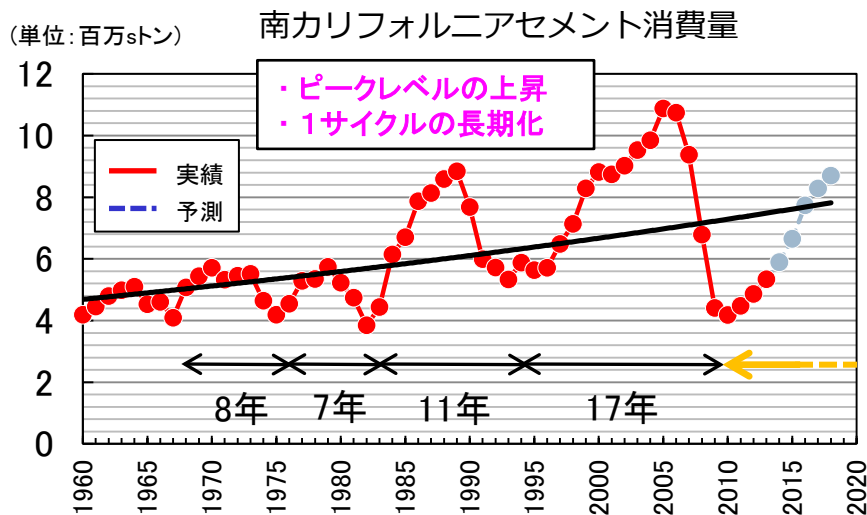
- ◆国内需要・・・年間48百万トンを予測。上期は人手不足、公共工事入札不調などにより前年比微減も、下半期は前年同期を上回る水準を予測
- ◆価格適正化・・・九州、東北を中心に着実に進展
- ◆廃棄物処理拡大・・・**九州工場廃石膏ボード粉処理能力を約5倍に増強することを決定（現行1.2万t/年⇒6.4万t/年）**



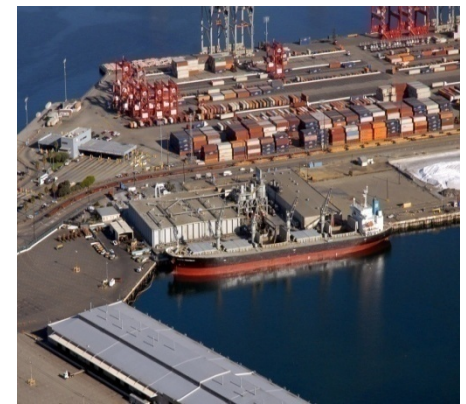
セメント事業概況②

<北米>

- ◆南カリフォルニア市場・・・回復継続、長期的な上昇トレンドへ突入
- ◆骨材資源の確保、セメント供給体制の強化
 - ・・・**ハブス骨材鉱山の生産開始**、セメント輸入ターミナル増強・新設を準備中
- ◆価格適正化・・・セメント・生コンとも、着実に値上げが浸透
R R M社はリーディングカンパニーとして強力に値上を推進中



ハブス骨材鉱山

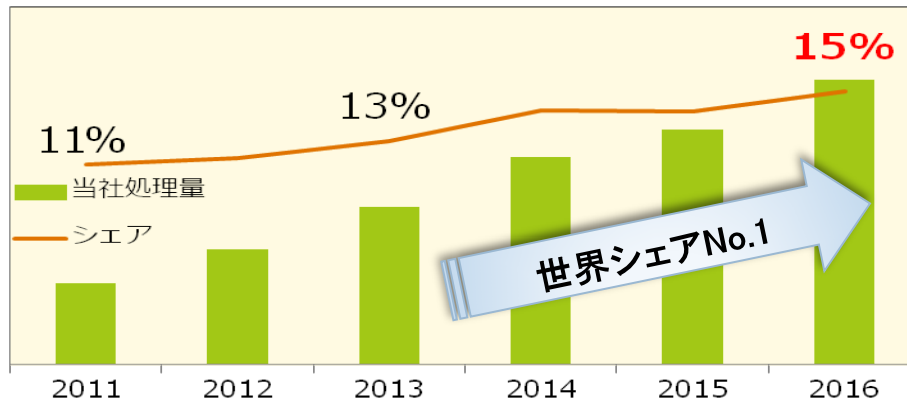


ロングビーチターミナル

金属事業概況

- ＜鉍山＞ ◆ 自山鉍比率向上・・・サフラナル（ペルー）プロジェクトは、本年7月よりPre F/Sへ移行
- ＜製錬＞ ◆ 事業環境・・・安定した銅価、買鉍条件改善、円高是正
 - ◆ リサイクル事業拡大・・・**北米に金銀滓（E-Scrap）リサイクル事業部門を新設**
- ＜銅加工＞ ◆ 戦略新合金 MNEX[®] の認定拡販の推進
 - ◆ 鉛フリー合金（エコブラス）の世界販売累計が10万トン突破

E-Scrap処理 世界シェアNo.1へ



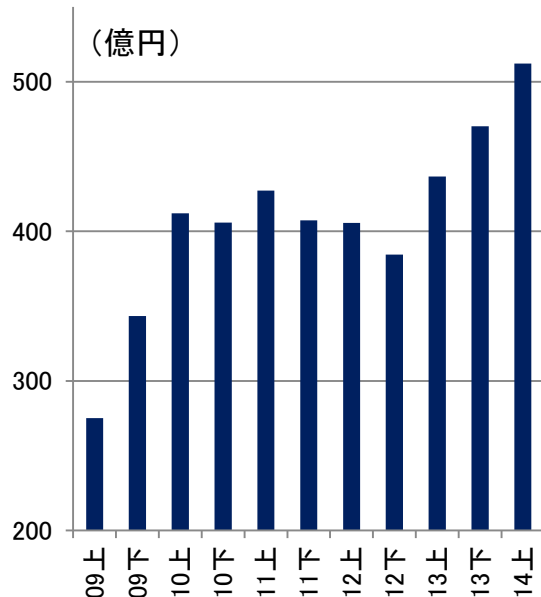
回収している金銀滓（E-Scrap）の例

加工事業概況

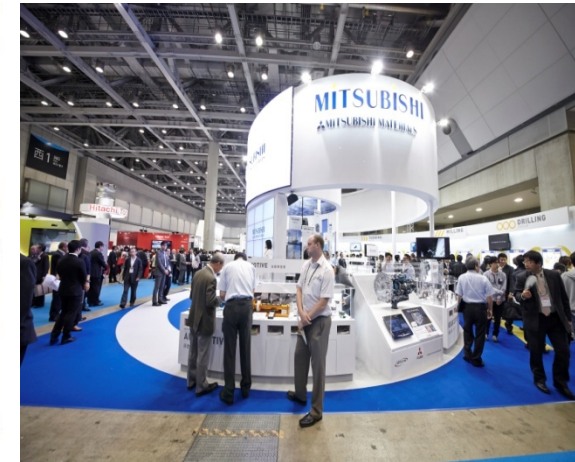
＜超硬製品＞

- ◆販売状況・・・前年度下期から回復が顕著、今後も堅調な伸びを予測
- ◆海外拠点拡大・・・**トルコと中国（武漢・青島）に新営業拠点開設**
- ◆生産能力拡大・・・**生産能力の増強完了（筑波+20%Up）**
- ◆選択と集中の加速・・・**日立ツール社株式51%の取得決定**

連結売上高（超硬）



欧州における超硬事業の拠点



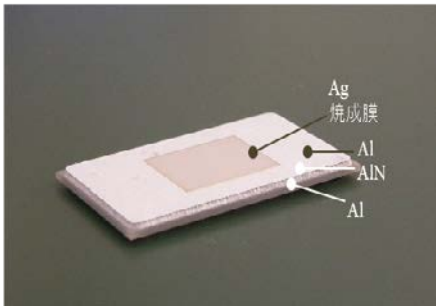
日本工作機械見本市
(JIMTOF 2014)
10月30日 - 11月4日開催

電子材料事業・アルミ事業概況

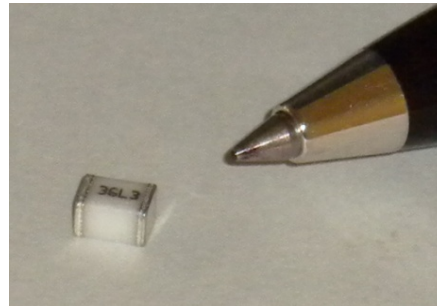
電子材料事業

- ◆ 新製品開発・・・ユニークで高付加価値戦略製品の開発加速
- ◆ 生産拡大・・・ラオス新製造拠点設立は概ね予定通り進捗
- ◆ 多結晶シリコン・・・今年6月30日の四日市工場再稼働後、安全を最優先に安定操業を実施

Ag焼成膜付きDBA(Direct Bonded Aluminum)基板 (機能材料)



電源回路向け最小クラスのサージアブソーバ (電子デバイス)



押出熱交換器材 (アルミ事業)

アルミ事業

- ◆ 圧延事業・・・インド新製造拠点 (押出材) 設立は概ね予定通り進捗
- ◆ 製缶事業・・・ボトル缶の海外展開について様々な角度から検討継続

4. 総括

◆安全管理体制の強化

「安全と健康は全てに優先する」を最重要事項と認識、安全管理体制の強化及び、安全風土・文化の徹底

◆中期経営計画の着実な実行

財務体質の改善を継続するとともに、持続的成長を実現するための戦略投資を果敢に実施し、成長基盤を強化

Materials Premium 2016

～NO.1企業集団への挑戦～

5. 参考データ

(諸元・前提条件・感応度)

諸元・前提条件・感応度①

諸元・前提条件	14年3月期（実績）			15年3月期（2014年5月公表）			15年3月期（今回予想）	
	上期実績	下期実績	通期実績	上期	下期	通期予想	上期実績	通期予想
平均為替TTM（円/\$）	99	102	100	102	102	102	103	102
（円/€）	130	139	134	140	140	140	139	140
セメント（国内）総需要（万トン）	2,291	2,480	4,771	2,320	2,480	4,800	2,261	4,800
セメント販売数量（単体国内・万トン）	349	393	742	357	392	749	335	743
同上（単体輸出・万トン）	106	122	228	128	123	251	128	247
セメント（米国）総需要（万トン）	-	-	7,974	-	-	8,601	-	8,606
セメント（米国）販売数量（万sトン）	84	85	168	90	85	175	80	157
生コン（米国）販売数量（万cy）	301	327	628	329	352	681	306	635
銅価（¢/lb）	323	322	322	310	310	310	313	311
電気銅販売量（単体自社品・千t）	142	147	289	148	124	272	142	280
同上（単体輸出数量・千t）	58	57	115	96	39	135	62	108
電気銅販売量（PTS・千t）	103	95	198	140	135	275	134	271

諸元・前提条件・感応度②

諸元・前提条件	14年3月期（実績）			15年3月期（2014年5月公表）			15年3月期（今回予想）	
	上期実績	下期実績	通期実績	上期	下期	通期予想	上期実績	通期予想
伸銅品販売量（千t）	71	72	143	76	78	154	75	154
鉱山配当（億円）	54	97	151	32	94	126	57	136
SUMCO純利益（億円）	1	5	7	45	45	90	78	※145
内 当社持分（億円）	-1	0	-1	11	11	22	20	37
アルミ板製品販売数量（kt）	55	52	107	54	54	108	56	111
アルミ押出製品販売数量（kt）	10	11	21	10	10	20	11	21

※ 2014年11月7日SUMCO社公表

15/3月期 3Q-4Q感応度

為替レート	営業利益 1円/ドル（円高△）	1.7	億円
	営業利益 1円/1-円（円高△）	0.3	億円
銅価格(LME)	営業利益 10¢/lb	2	億円
	営業外利益 10¢/lb	9	億円

◆お問合せ先◆

三菱マテリアル株式会社 広報・IR部

〒100-8117 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館

TEL : 03-5252-5206 FAX : 03-5252-5272

URL : <http://www.mmc.co.jp/>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。